

病院長からのメッセージ

医学生のみなさんへ

宝塚市立病院は「市民の健康といのちを守る」ため日夜戦っています。阪神北地域の基幹病院として、近隣からの紹介を広く受け入れ、急性期医療を実践しています。一般病床 436 床のうち、集中治療（ICU）4 床、高度治療室（HCU）8 床で重症患者に対応します。私自身、集中治療専門医なので、重症患者を診ると血が騒ぎます。北阪神地域でトップクラスの医師とともに、多くの症例を経験し、充実した研修生活、ドキドキした毎日を送りましょう。

われわれの病院の特徴をいくつか列挙します。

1) がん診療

地域の癌診療を担うため、2018 年 4 月にがんセンターを開設しました。西日本では初となる放射線治療、トモセラピーでガンを狙い撃ち、ゆったりとした化学療法センターで最新鋭の治療を行っています。患者さんががんと診断された時から、市民生活を支えつつ、手術療法、放射線療法、化学療法の 3 本柱で高度ながん診療を提供します。

2) 一貫した救急医療

2015 年夏に救急医療センターを開設し、救急患者をよりスムーズに受け入れるように変革してきました。この 5 年で救急車受け入れは倍増、年間約 5,000 例近くになっています。中等症は救急医療センターで、重症は ICU で治療します。2018 年 1 月からは、院長を中心とした「ホットライン」メンバーで、開業医や診療所から紹介を即刻受け入れトリアージしています。

3) 優れた内視鏡技術

消化器内視鏡センターでは数多くの内視鏡検査・治療を行っています。特殊な内視鏡処置、CT とエコー画像をリンクさせる技術など、優れた技術レベルを誇ります。

4) 国内有数の緩和医療チーム

最終的に進行がんと生きることになった患者さんに対して、先進的な緩和ケア病棟にて、疼痛、不眠や不安などを和らげ日常生活を快適に過ごすお手伝いをしています。

令和元年 5 月

宝塚市立病院 病院長 今中 秀光